

横浜市立美しが丘西小学校 平成 28 年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習に主体的に取り組める授業を展開し、学び合い、高め合って学習を深めていきます。 ・さまざまな教育活動を通して、豊かな感性を育み、自己有用感を持たせ、自他を大切に人権感覚をもたせます。 ・地域や保護者との連携を図りながら、人と人、地域とのつながりを大切にしていきます。 ・教職員が相互に啓発・連携する活気あふれた学校運営組織の確立を推進していきます。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

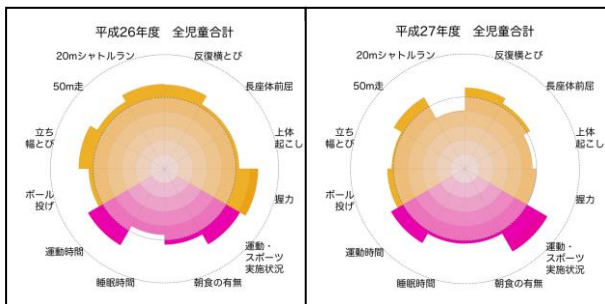
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	基本的な生活習慣に関する活動に全校で取り組む。一校一実践運動の実施などクラスや個人で継続的に取り組むことにより体力向上を目指す。	① 一校一実践運動の「長縄跳び」記録会の実施などを中休みに定期的実施し、体力アップを図る。 ② 養護教諭との連携により保健委員会などから体力向上や健康保持のための情報発信を行う。 ③ 栄養教諭との連携により、食育に関する継続した指導や授業を行う。
担当	体育部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・生活の様子を見ると、ほとんどの児童が朝食を摂っている。前夜からの生活リズムができていことが考えられる。睡眠時間に関しては、高学年になるにつれて市の平均よりも減少しているのが気になる。
- ・スポーツクラブに所属して、運動に親しんでいる子どもがいる一方、運動に関心のない子どもは、体育の学習しか体を動かす機会がないのが現状である。体力的にも運動能力的にも二極化が表れている。学年が上がると塾に通うようになり、継続的に体を動かす機会が少なくなってしまう。
- ・保健室の利用状況は、学校の規模としては少なめである。精神的に不安定な児童への安らぎの場としても開放しているが、現状ではそのような目的での活用はほとんどない。
- ・1校1実践運動の取組はしっかり取り組んでいる子どもがほとんどである。上手に跳べない友だちを励まし、クラスの結束を高めながら、一方で縄跳びの技能も高めていくという姿が見られた。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



全体的に体力や運動能力が低いことがわかる。運動に対する意識は高いが、体を動かす場面での質や密度が低いことが考えられる。特に20mシャトルランと上体起こしは市の平均よりも低く、持久力が不足していることがわかる。体育の学習はもとより、休み時間なども利用し、走ったり縄跳びをしたりして持続して体を動かす経験を積ませることが大切になる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

・体育科では、「進んで運動に取り組む子の育成」を目標とし、運動することの楽しさや喜びを友だちとのかかわりの中で実感できるようにする。保健の学習では、規則的な生活をするのが、体調を整え、心身ともに安定した生活につながることを学ぶようにする。

《他教科での取組》

・家庭科では、栄養に関する学習を通して、いろいろな食べ物をバランスよく摂取することの大切さに気付くようにする。

道徳・特活・総合

- ・道徳では、「友情・信頼・助け合い」について学級全体で考えることによって、集団で運動に取り組むときの励まし合いや助け合いの気持ちをさらに高めていく。
- ・児童会活動の「運動委員会」では、たて割りグループを活用した長縄大会や、ドッジボール大会などを開催し、学級とは異なる集団の中で、下級生を思いやりたり上級生の素晴らしさを感じ取ったりする機会としていく。

課外活動

給食後に、「歯磨きタイム」を行うことで、食後の時間にゆとりをもつとともに、自分の健康や友だちの様子について関心をもつことができるようにする。

学校保健委員会で、食育を通じた健康に関する話題を取り上げ、健康に対する意識を高める。

平成28年度 美しが丘西小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 B→なわタイム

《ねらい》 継続的に長縄跳びに取り組むことで、体力の向上を図るとともに、友だちと力を合わせる楽しさや喜びを感じられるようにする。

《内容》 休み時間を活用した外遊びの推進＝長縄跳び

●指 標： ①行事後の振り返り 「事前取組」「満足度」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。